



地域政党
きずな庄原
議員団
KIZUNA SHOBARA

～あなた～
先人からのバトンを未来へ

持続可能な庄原市になるために今を耕し明日へ向かう



代表挨拶



地域政党きずな庄原
代表 五島 誠

平素より地域政党きずな庄原の活動に際し一方ならぬご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年5月より新体制に移行し、「先人からのバトンを未来（あなた）へ」のスローガン、三つの基本理念、五つの政策方針のもと庄原市議会議員団を中心に活動を進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻をはじめ緊迫化した世界情勢は私たちの生活に大きな影を落としております。

このような状況下においても安心安全な暮らしを支え、地域経済の好循環を促し、持続可能な地域社会を未来へと繋ぐためにより活発でより具体的な成果を生む運動を展開していくかなければなりません。

一人でも多くの方にこの報告書をご覧いただき、ともに語り合う仲間づくり、そして地域政党きずな庄原が「庄原市民の叡智が結集できる政策集団」「庄原市民による地方再生・庄原創生」「住んで満足、住み続けたくなるまちづくり」の先鋒となり、先人からのバトンを未来（あなた）へ届けられるよう心を込めて、簡単ではありますが挨拶に代えさせて頂きます。ともに未来へ。

令和3年度事業報告

令和3年 ※毎月第1月曜日きずな庄原議員団勉強会を開催しています

4月9日	庄原市議会議員選挙	
5月26日	きずな庄原ZOOM会議	(参加者 林 徳永 五島 國利 寺岡様)
6月	令和3年第2回庄原市議会定例会	
9月	令和3年第3回庄原市議会定例会	
7月7日	第一回きずな自転車部ミーティング～自転車を活用した地域の活性化について～	(参加者 林 徳永 五島 國利 八谷 藤原 他自転車愛好者)
10月20日	地方新人議員対象研修会参加	(参加者 國利)
10月27日～28日	日本青年会館主催 清溪セミナー参加 (参加者 林 徳永 五島 國利リモート参加)	
11月13日	第二回きずな自転車部ミーティング～自転車を活用した地域の活性化の実現に向けて～	(参加者 林 徳永 五島 國利 藤原 他自転車愛好者)
11月22日	脱炭素に向けた先進地視察 島根県邑南町～新電力会社設立に向けての取り組み～	(参加者 林 國利)
12月8日	サイクリルトレイン視察 J R紀の国線 田辺駅→串本駅 (参加者 林 徳永 五島 國利)	
12月	令和3年第4回庄原市議会定例会	
12月24日	自闇型林業現場視察 鳥取県智頭町	(参加者 徳永 國利)
12月25日	広島県観光協会主催 e-マウンテンバイク試乗会開催 (参加者 林 徳永 五島 國利)	

令和4年

2月8日	因島自転車グラベルロード視察	(参加者 林 徳永 國利)
2月15日	自転車を活用した地域の活性化に関する関係者会議 場所 備北交通本社	
	(参加者 林 徳永 五島 國利 備北交通5名 庄原DMO2名 自転車振興協議会1名)	
3月	令和4年第1回庄原市議会定例会	
3月7日	街頭演説 (場所: ジョイフル 参加者 林 徳永 五島 國利)	

コロナウイルス感染症で行動の規制が多い1年でしたが、タイミングを見計らい感染防止を徹底して研修を行っています。

今年は脱炭素社会に向けて、自転車を活用した地域の活性化や、林業の新たな可能性を探る活動を中心に行いました。

私たちは

「命を守る創造農村プロジェクト」(まちづくり)、「挑戦する未来へ(あなた)」への応援と投資(人づくり)を政策方針の一つとしています。



綺麗に整備された林道を歩く

100年先の未来を見据えた持続可能な林業を目指し、小規模ながら自然に優しい自闊型林業を実践し、新たな挑戦をする庄原市内の若者たちと鳥取県智頭町に小規模経営林業の視察に行ってきました。

大規模に伐採するのではなく、山に負担がかかる程度の小規模伐採を行い、伐採と植林、定期的な山林管理を実施し、自然災害の無い安全な山林づくりを行っています。

山作りは、川や海の恵みにも繋がります。

山を作るということは脱炭素社会の実現、また豊かな自然を後世に繋げるためにも必要なです。



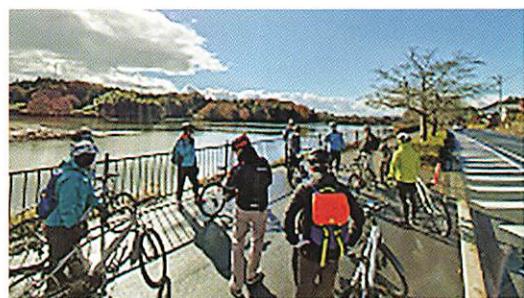
新たな挑戦をする若者たちと共に

国は、今後2050年までに温室効果ガス排出ゼロに向け様々な政策を行います。その中の一つがe-bike(電動アシスト付き自転車)の普及です。人々の移動を自動車から自転車へ変換していくというものです。

私たちは、今後の政府の施策に先駆け、自転車を取り入れた活動を推進します。

観光分野でもその効果が期待されるe-bike。

e-bike観光ガイド養成講座を受講し、私たち自ら観光業でのe-bikeの普及にも取り組みます。



e-bikeガイド養成講座（上野池にて）



廃線が危ぶまれるJR芸備線の存続の可能性を探るため、JR紀の国線(和歌山県)へサイクルトレインの視察に行ってきました。

自転車をそのまま列車に積み込むことができ、サイクリストや中高生には有難いサービスです。このサービスにより観光客などを中心に乗客が増えています。

芸備線存続に向けて、一つの可能性として今後さらに研究していきます。

◀列車内にそのまま自転車を積み込みます

その他にも広島県観光協会様にご協力いただいてeマウンテンバイク試乗会の開催や、自転車を活用した地域の活性化の先進事例である因島の大山神社(自転車神社)の視察も行いました。令和4年度はこれらの視察を参考に、自転車での地域活性化を実現していきます。

自転車は自動車には無い爽快感を味わうことができ、普段は気にとめない景色や魅力に気付くことができます。また健康にも良く、もちろん温室効果ガスの排出もゼロ。観光の分野でも庄原市の最大の魅力である自然を最大限活かすことができるアクティビティです。私たちは今後も脱炭素社会の実現を念頭に、自転車を活用した地域の活性化に取り組んでいきます。



自転車神社の視察

お問い合わせ

地域政党 きずな庄原

広島県庄原市板橋町1110番地3

TEL 080-6317-7279
(幹事長 國利 知史)

<https://kizuna-shobara.com>
contact@kizuna-shobara.com



YouTubeチャンネル
地域政党きずな庄原

